



# 井上さちこ通信



みなさまと一緒に歩みます 令和3年(2021年)新春号

井上さちこ応援団 : 廿日市市福面 3-14-14

Eメール : luckey@network.email.ne.jp HP : <http://www.inoue-sachiko.com/>

新しい年が明けました。新しい生活様式を取り入れ、人との絆を大切にと思っています。



## 世界遺産の玄関口にターミナルとマーケット完成！

平成17年廿日市市議初当選の時から宮島口の「港湾指定」と「新宮島口桟橋の建設」を一般質問で訴えて参りました。令和2年2月29日、ターミナルがオープンしました。現大野第一区区長の青柳康夫さんのデザイン画をもとに質問し、特に市に提言したのは、物産館をつくり吉和・佐伯・廿日市・大野全域の特産品を販売できる場づくりと、宮島を眺めながら歩ける港まわりの遊歩道の敷設です。市民も「この港を楽しむ」ための提言でした。現在「はつこいマーケット」として開店し様々な地域の物産が販売されています。

## 宮島訪問税

市は、10数年にわたって観光客の訪問による行政需要（ゴミの処理、トイレ使用による公共下水、水道水の使用量など）の増に対する協力金などをいただくことはできないかを検討してきました。当初、島に入域するときにはいただく「入島税1回100円」の考え方がありましたが、宮島町にお住まいの方からも「税をいただくということで理解が得られません。そこで代替案として「宮島への訪問者」から1回100円の税をいただくという考え方を取り入れることとしました。

井上さちこは、宮島町職員時代に、宮島には老人ホームがないので介護のために子どもが親の面倒をみるために毎日のように通っている姿を見ていました。そこで、宮島でのボランティア活動で島に通う人たちも含めて、何らかの措置をと提言し、現在、年間パスポート方式で「500円」の税をいただくという予定で進んでいます。



広島県のHPから

令和2年3月  
供用開始後

## 2050 問題、人口の4割が 65 歳以上。介護環境の充実を図りたい！



### 在宅を支えるホームヘルパーの充実を目指します

超高齢化社会が進み、公的な老人ホームには入れない状況が続くと予測されます。施設ではなく在宅で暮らすには、介護保険法に縛られたヘルパー制度ではなく、もっと家族的なヘルパー制度が求められます。一緒に買い物に行けたり会話を楽しめたり、市独自のヘルパー制度の充実を図るため提言して参ります。



### 家族的な看取りができるホームホスピス設置を支援します

患者さんやその家族に対する温かいもてなしの心で、市民が安心して最期まで生きていける環境を提供できるホームホスピスは、在宅福祉の充実に必要な仕組みだと考えています。

井上さちこは、市民の皆さんや事業者が事業をしやすくなるよう、空き家の活用や賃貸料の負担など、支援について調査し、市に提言して参ります。

### はつかいち図書館で借りた本を、近くの市民センターでも返せるようにしました！

予算委員会などで、図書館のない吉和、宮島地域での本の返却の利便性を訴えて参りました。その結果、令和 2 年 11 月 1 日から移動図書館車の巡回先の市民センター、支所（四季が丘・宮園・原・大野東・吉和市民センター、宮島支所）で、巡回日時以外に「廿日市市の図書館（はつかいち市民図書館、はつかいち市民大野図書館、はつかいち市民さいき図書館、移動図書館車たんぽぽ号）」の本の返却と予約本の受け渡しが可能になりました。

### 過疎地域や中山間地域のカソリンスタンド問題に取り組んでいます。

2030 年を目指して電気自動車への切り替えが進む今、農業機械用のガソリンや暖房用の灯油など、車の用途以外の需要が多いのが地域のカソリンスタンドです。吉和と宮島でも 1 軒になりました。佐伯、大野地域でもガソリンスタンドが減っています。ガソリンスタンドは個人の店の問題ではなく、地域の暮らしを支えるところという意識を市役所が持つように、先進地事例を提言しています。



佐伯高校存続をいち早く一般質問しました。本市には佐伯国際アーチェリーランド、MRC 乗馬クラブ、乗馬クラブ吉和といった県内でも有数のクラブがあります。これらのクラブを観光資源として活かしつつ、また佐伯高校をスポーツ教育を主流とする特色ある高校とすることや農業高校の要素も取り入れるなどすれば、高校存続の可能性は大きく広がる気がします。

平成 21 年 3 月に大型団地の浄化槽を、公共下水道に繋ぎ込むよう一般質問し、実現しました！

誰もが安心して、妊娠・出産・子育てができるよう、身近な場所で見守り、サポートする体制（ネウボラ）の取入れについて、いち早く一般質問し、実現しました！

令和元年、話お話し、廿日市の手話の普及、言語の多様なニーズの促進、市民の暮らしの向上、条例の制定、市民と共に取り組みました！

フリースクールの支援を教育委員会に提言しています。

井上さちこは、いのちをまもる政治に取り組みます。



# 井上さちこ通信



みなさまと一緒に歩みます 令和3年(2021年)新春号

井上さちこ応援団 : 廿日市市福面 3-14-14

Eメール : luckey@network.email.ne.jp HP : <http://www.inoue-sachiko.com/>

新しい年が明けました。新しい生活様式を取り入れ、人との絆を大切にと思っています。

## 世界遺産の玄関口にターミナルとマーケット完成！

平成17年廿日市市議初当選の時から宮島口の「港湾指定」と「新宮島口棧橋の建設」を一般質問で訴えて参りました。

令和2年2月29日、ターミナルがオープンしました。現大野第一区区長の青柳康夫さんのデザイン画をもとに質問し、特に市に提言したのは、物産館をつくり **吉和・佐伯**・廿日市・大野全域の特産品を販売できる場づくりと、宮島を眺めながら歩ける港まわりの遊歩道の敷設です。市民も「この港を楽しむ」ための提言でした。現在「はつこいマーケット」として開店し様々な地域の物産が販売されています。



## 宮島訪問税

市は、10 数年にわたって観光客の訪問による行政需要（ゴミの処理、トイレ使用による公共下水、水道水の使用量など）の増に対する協力金などをいただくことはできないかを検討してきました。当初、島に入域するときにはいただく「入島税1回100円」の考え方がありましたが、宮島町にお住まいの方からも「税」をいただくということで理解が得られませんでした。そこで代替案として「宮島への訪問者」から1回100円の税をいただくという考え方を取り入れることとしました。

**井上さちこ**は、宮島町職員時代に、宮島には老人ホームがないので介護のために子どもが親の面倒をみるために毎日のように通っている姿を見ていました。そこで、宮島でのボランティア活動で島に通う人たちも含めて、何らかの措置をと提言し、現在、年間パスポート方式で「500円」の税をいただくという予定で進んでいます。



広島県のHPから

令和2年3月  
供用開始後

## 県立佐伯高校の存続について、いち早く一般質問しました！



平成23年度から4年連続で定員割れが続いていた佐伯高校は、県教育委員会の方針で平成28年から3年間で活性化策をすすめ、その後も2年続けて定員を大きく下回る場合は統廃合を含めた再編を検討するという瀬戸際に追い込まれていました。平成26年6月井上さちこは、吉和・佐伯地域の子どものためにも、また地域の衰退を招かないためにも、市は本気で佐伯高校の存続に向け、**生徒の全国募集の実施**をと提言しました。更に下宿先の確保と下宿受け入れ宅のふろ場等の補修費などの支援も提言し実現しました。これらの成果は、地域住民の皆さんと一体となって粘り強く要望してきた成果です。

井上さちこは**女子野球部存続**のために3年前に、四国の有力中学選手を紹介しましたが、ご縁がありませんでした。しかし、その中学生は、高校卒業後の進学先を聞いてくれました。大学でも野球をしたいし、就職先にも影響するからです。これは生徒募集にはとても参考になりました。現在の進路情報が佐伯高校のHPに載っていました。先生方も生徒の皆さんも努力されていますね。**現在の佐伯高校の進路情報（令和2年度12月11日現在）**  
大学：国公立大学3名、県内私立大学6名、県外私立大学1名、県内短期大学1名  
専門学校：県内専門学校12名 公務員：県外地方公務員1名 就職：県内企業3名

## はつかいち図書館で借りた本を近くの市民センターでも返せるようにしました！

井上さちこは予算委員会などで、図書館のない吉和、宮島地域での本の返却の利便性を訴えて参りました。その結果、令和2年11月1日から移動図書館車の巡回先の市民センター、支所（四季が丘・宮園・原・大野東・吉和市民センター、宮島支所）で、巡回日時以外に「廿日市市の図書館（はつかいち市民図書館、はつかいち市民大野図書館、はつかいち市民さいき図書館、移動図書館車たんぽぽ号）」の本の返却と予約本の受け渡しが可能になりました。

一般質問では、過疎地域や中山間地域のガソリンスタンド問題に取り組んでいます。世界では電気自動車への切り替えが進む今、農業用のガソリンや暖房用の灯油など、車だけの用途で終わらないのが地域のガソリンスタンドです。吉和と宮島でも1軒しかなく、佐伯、大野地域でもガソリンスタンドが減っています。ガソリンスタンドは個人の店の問題ではなく、地域の暮らしを支えるところという意識を市役所が持つように、先進地事例を提言しています。



佐伯や吉和には、佐伯国際アーチェリーランド、MRC 乗馬クラブ、乗馬クラブ吉和といった県内でも有数のクラブがあります。これらのクラブを観光資源として活かし、この資源を活かして佐伯高校をスポーツ教育を主流とする特色ある高校とすることや農業高校の要素も取り入れるなどすれば、高校存続の可能性は大きく広がる気がします。



井上さちこは、いのちをまもる政治に取り組みます。



# 井上さちこ通信



みなさまと一緒に歩みます

令和3年(2021年)新春号

井上さちこ応援団 : 廿日市市福面 3-14-14

Eメール : luckey@network.email.ne.jp HP : <http://www.inoue-sachiko.com/>

新しい年が明けました。

コロナ禍のなか、新しい生活様式を取り入れ、人との絆を大切にと思っています。



## 世界遺産の玄関口にターミナルとマーケット完成！

平成17年廿日市市議初当選の時から宮島口の「港湾指定」と「新宮島口桟橋の建設」を一般質問で訴えて参りました。令和2年2月29日、ターミナルがオープンしました。現大野第一区区長の青柳康夫さんのデザイン画をもとに質問し、特に市に提言したのは、物産館をつくり吉和・佐伯・廿日市・大野全域の特産品を販売できる場づくりと、宮島を眺めながら歩ける港まわりの遊歩道の敷設です。市民も「この港を楽しむ」ための提言でした。現在「はつこいマーケット」として開店し様々な地域の物産が販売されています。

## 宮島訪問税

市は、10数年にわたって観光客の訪問による行政需要(ゴミの処理、トイレ使用による公共下水、水道水の使用量など)の増に対して、協力金や協賛金をいただくことはできないかを検討してきました。島に入域するときにいただく「入島税1回100円」の考え方は、宮島町にお住まいの方からも「税」を取るということで理解が得られませんでした。そこで代替案として「宮島への訪問者」から1回100円の税をいただくという考え方を取り入れることとしました。

井上さちこは、宮島町職員時代に、宮島には老人ホームがないので介護のために子どもが親の面倒をみるために毎日のように通っている姿を見ていました。そこで、宮島でのボランティア活動で頻繁に島に通う人たちも含めて、何らかの措置をと提言し、現在年間パスポート方式で「500円」の税をいただくという予定で進んでいます。



広島県のHPから

令和2年3月  
供用開始後

## 9区丸石地区の防災用道路新設工事のお役に立てました！



①



②



③

平成30年9月に地元の方から大野町時代に中止となった道路計画を再開してほしいと要望があり、地元のみなさんと一緒に要望活動を行いました。R元年度まで、何度も地権者の方と市の担当者との協議の場を作り、地権者の方の土地の一部寄付という協力があり、R2年度に用地買収のための測量が始まりました。

**井上さちこ**は、おひとりの方の地域を思うお気持ちに共感して、一緒に活動させていただきました。

① 上欄の写真「この先行き止まり」と表示があります。

② 下欄の左の写真「行き止まり」の標識のところから見た、既に道路が通っている部分です。

③ 下欄右の写真 防災道路が上に伸びていく道です。到達点には、石畳の道をカバーしている部分があり、文化財保護の観点からも工事の際は注意をと促しています。

\* **井上さちこ**は、公共下水道敷設工事も併せて行うようお願いし、実現します。

## 災害にあった9区組合墓地の一部改修工事のお役に立てました！



平成30年7月豪雨災害で、9区の墓地管理組合が管理されている墓地が被害を受けました。当時は、通路も崩れ通れない状態でした。組合の方から相談があり、市と協議を重ねた結果、里道については市の負担で工事をし、他は管理組合の積立金で改修工事ができました。

平成17年の合併市議選の際の公約の一つは団地の浄化槽を公共下水に繋ぎ込むことでした。



平成21年3月の**井上さちこ**の一般質問の結果、廿日市市・大野処理区の見直し、団地排水調査、排水ルート検討、都市計画法決定後の変更等の法整備を行い、大型団地の公共下水への早期接続を目指すという答弁を得ました。その結果、対蔵山と青葉台は、大野処理区から廿日市処理区へ移管替えがなされ、対蔵山、青葉台の早期の繋ぎ込みが実現しました。大野地域では、物見、宮島台、そして令和2年から3年にかけて宮浜の大野サンハイツ、宮島ニュータウン、宮島ビューハイツへの繋ぎ込みが実現します。

**井上さちこは、いのちをまもる政治に取り組みます。**



# 井上さちこ通信



みなさまと一緒に歩みます 令和3年(2021年)新春号

井上さちこ応援団 : 廿日市市福面 3-14-14

Eメール : luckey@network.email.ne.jp HP : <http://www.inoue-sachiko.com/>

新しい年が明けました。

コロナ禍のなか、新しい生活様式を取り入れ、人との絆を大切にと思っています。



## 世界遺産の玄関口にターミナルとマーケット完成！

梅林良定町長のアドバイスを活かして、平成17年廿日市市議初当選の時から宮島口の「港湾指定」と「新宮島口棧橋の建設」を一般質問で訴えて参りました。令和2年2月29日、ターミナルがオープンしました。現大野第一区区長の青柳康夫さんのデザイン画をもとに質問し、特に市に提言したのは、物産館をつくり廿日市市全域の特産品を販売できる場づくりと、宮島を眺めながら歩ける港まわりの遊歩道の敷設です。廿日市市市民も「この港を楽しむ」ための提言でした。現在「はつこいマーケット」として開店し様々な地域の物産が販売されています。



広島県のHPから

令和2年3月  
供用開始後

## 宮島訪問税

市は、10数年にわたって観光客の訪問による行政需要(ゴミの処理、トイレ使用による公共下水、水道水の使用量など)の増に対する協力金などをいただくことはできないかを検討してきました。当初、島に入域するときいただく「入島税 1回 100円」の考え方がありましたが、宮島町にお住まいの方からも「税」を取るということで理解が得られませんでした。そこで代替案として「宮島への訪問者」から1回100円の税をいただくという考え方を取り入れることとしました。

井上さちこは、宮島町職員時代に、宮島には老人ホームがないので介護のために子どもが親の面倒をみるために毎日のように通っている姿を見ていました。そこで、宮島でのボランティア活動で島に通う人たちも含めて、何らかの措置をと提言し、現在、年間パスポート方式で「500円」の税をいただくという予定で進んでいます。

メイプルライナーの運行について、2つお役に立てました！



**1つ目** 📌 宮島桟橋から杉之浦方面へは、午後1時から3時までの間、1便もない状態が、長く続いていました。何度も市に申し入れをし、現在では1時44分、2時30分、3時5分と、3便を増便できました。

\* 杉之浦便では上杉之浦停留所から杉之浦中をぐるっと回って便利になりました。

**2つ目** 📌 網の浦に公営住宅をつくっているなら、メイプルライナーも、始発を水族館ではなく、網の浦からにするべきではと申し入れをしてきました。現在では9時24分、11時42分、15時48分の3本が、網の浦から出発しています。

はつかいち図書館で借りた本を、宮島支所で返せるようにしました！



「伝統的建造物群保存地区の指定」に当たり、保存や修理に対する改修費補助金について、「宮島は材料運搬費が船賃分割高になるので、補助金額を上げるよう」要請し、実現しました！



平成30年9月の一般質問で、国の登録有形文化財である「宮島歴史民俗資料館」(昭和47年12月建築)について、「100年後を見据えた建て替えについて」を取り上げました。その後予算特別委員会でも毎年質疑を重ねています。教育委員会からは、「令和2年度に廿日市市全体の資料館(吉和、佐伯、廿日市、大野民具庫)の資料数調査を行い、その後全体計画を構築するので、その後検討に移ります。」との回答を得ています。今後とも粘り強く交渉していきます。



井上さちこは、いのちをまもる政治に取り組みます。